



ブロッコリー編

病害虫注意報 2021年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期～定植前おすすめ防除

この時期の防除は、残効の長い粒剤や灌注剤を用いての省力化がおすすめです

プリンス粒剤

ハイマダノメカガ

20～30g/セル成型育苗トレイ1箱

またはペーパーポット1冊上から均一に散布

は種時～定植前/1回



プレバソンフロアブル5

コナガ・アムシ・ハスモンヨトウ

0.5L/セル成型育苗トレイ1箱

またはペーパーポット1冊 100倍灌注

育苗期後半～定植当日/1回



ミネクトデュオ粒剤

アブラムシ類・コナガ	1g/株 定植時株元散布 1回
アザミヤカ類	40g/セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊
アムシ・ハイマダノメカガ	は種後土後～育苗期後半 1回

コナガ	20～30g/セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 は種時散布 1回
-----	--



注意

ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ・ベリマークSC
- ・ベネビアOD
- ・アクタラ粒剤5
- ・ジュリボフロアブル
- ・プリロッソ粒剤
- ・アベイル粒剤
- ・アクタラ顆粒水溶剤

コナガなどのチョウ目害虫やアブラムシ類に効果の高いミネクトデュオ粒剤の処理がおすすめです ※弊社試験結果より



灌注処理剤の上手な使い方

- ・灌注処理は定植3～5日前が最適です
- ・定植数日前に処理して、十分に成分を吸わせることで高い効果を発揮します

粒剤処理2週間前後、または害虫発生時は、適宜散布剤による防除を行ってください

薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
フローバックDF	1,000倍	収穫前日(発生初期)	-
スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前	3回
アフーム乳剤	1,000～2,000倍	収穫3日前	3回
エルサン乳剤	1,000～2,000倍	収穫30日前	2回

長雨による黒腐病対策に!

オリゼメート粒剤

- ▶ 植物の病害抵抗性を誘導
- ▶ 持続性に優れた効果

6～9kg/10a
定植時/1回/全面土壌混和



新規登録農薬紹介

ブロフレアSC

コナガ・オタバコガ・ヨトウムシ
ハスモンヨトウ・アムシ
2,000～4,000倍
収穫前日まで/3回以内



- ★ 速効的な殺虫効果
- ★ 葉面上で3週間の残効性
- ★ 抵抗性害虫にも有効!
- ★ 新規成分ブロフラニド (IRAC : 30)